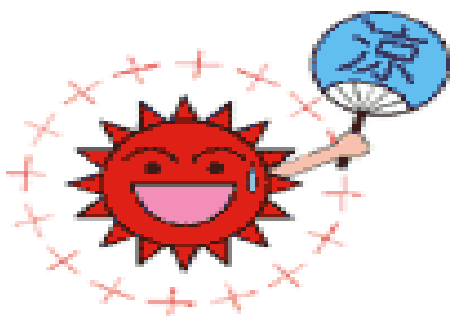


相談室だより (米の山) 2011年7月

担当：米の山病院 MSW 渡辺

梅雨も明け、夏本番となってきましたが、みなさんはいかがお過ごしでしょうか？
夏バテや熱中症にはくれぐれも注意して、この夏を乗り切っていきましょう。
さて今回の相談室だよりは、無料低額診療事業の事例報告と連携室援助依頼箋についての2本立てで書いていきたいと思えます。お付き合いのほどよろしくお願ひします。



無料低額診療事業事例

Aさん 59歳 男性

当院は初診。アルコール性の肝障害で受診される。元々溶接（1人親方）の仕事がされていたが、今年に入りほとんど仕事が入ってこなくなった。Aさんは仕事をなんとかしたいとずっと思っていたが、不景気のため仕事が全くなく、1月に1週間ほど仕事をされてからは、半年ほど仕事がない状況だった。仕事がないために、自棄になり日中から飲酒を繰り返すようになってしまった。今までは預貯金を切り崩して、生活されていたが、その預貯金も底をついてしまった。27年前に離婚されてからは、妻・子供とも一切連絡をとらず、1人で生活をされてきたAさんは、誰にも相談することもできず、無料低額診療事業の話聞いて今回MSWへ相談に来られました。面談の中では、生活していくためにも仕事が入ってくるまでは、生活保護の受給などもあることを提案しましたが、本人の気持ちと自家用車所持がネックとなり、生活保護申請までには至りませんでした。そのため、受診については無料低額診療事業で対応することにしました。今後の生活について面談の中では、溶接関係以外での仕事も視野に入れながら次の仕事を探すことにしました。今は寿司屋の採用に向けて、チャレンジしているところです。アルコール性の肝障害についてもきちんと治療していくために、断酒に向けてAさんに取り組んでもらっています。

Bさん 6歳 男性

小児リハビリスタッフより相談を受けて、対応させてもらった事例です。Bさんは言語発達遅滞で3月より当院へ受診及びリハビリ通院をされていましたが、5月より中断をされていました。Bさんの母親と面談を行なった結果、経済的問題があり支払いが難しいとのことでした。状況を伺うと依然C県に家族5人で在住されていたのですが、生活困難となり母親の実家のあるこちらへ今年の10月より夫を除く4人で帰ってこられたとのことでした。夫は現在もC県におられるようですが、今年の1月より音信不通となり、連絡がとれない状況で、母親のパート収入とBさんの特殊学級支援金で生活を行っているために、受診時に発生する支払いができないことが来院できない要因となっていました。無料低額診療事業という制度があることを説明し、申請を行ってもらいました。その他の社会資源として、障害児福祉手当の申請を行ないました。まだ結果は出ていませんが、それ以外の社会資源の検討も含め、今後も引き続き関わりをもっていきたいと思えます。今回は、リハビリ科からの情報で無料低額診療事業を開始することができました。今回の事例はまだ氷山の一角だと思います。職員・スタッフの気付きが改めて大切だと認識させられた事例でした。



「連携室援助依頼箋」提出状況について！

連携室援助依頼箋を始めてから早2年が経過することになりました。はじめは「援助依頼箋って何？」だったのが、最近ではようやく「援助依頼箋を出さない」と変わってきているように感じます。援助依頼箋とは、連携室(MSW)に退院援助や経済問題などの援助の依頼を行う際に、カルテより文章依頼を行うことをいいます。この間はほとんどが、病棟が中心となって依頼箋を提出されていますが、今後は看護科以外の職種からも提出してもらえるようにすることが課題となっています。今回は昨年度の連携室援助依頼箋の提出状況と援助依頼項目について報告したいと思います。

2010年度

病棟	援助依頼件数	援助内容	件数(構成比)	
2病棟	140(35)	経済問題	23	4.2%
3病棟	61(10)	福祉制度	15	2.7%
5病棟	57(15)	保険・年金制度	3	0.5%
6病棟	108(16)	家族問題	12	2.2%
7病棟	159(37)	退院援助	432	79.0%
外来	20(16)	介護保険	35	6.4%
		その他	27	4.9%

※ 援助依頼件数の()内の数字は連携室が必要と判断し、自ら援助依頼の発行を行った件数です。援助内容としては、病棟が中心ということもあり、圧倒的に退院援助の依頼が多いことが、この援助内容からもうかがえます。これは援助依頼箋によるものの支援であり、この他にも電話や備忘録(メール)といった形での関わりもあります。また機会があれば、全体的な援助・支援の統計を提示したいと思います。



- ★ 8月18日に恒例の第28回「米の山盆踊り大会」が行われます。毎年さまざまなアトラクションやバザーなど楽しみです。参加されたことのある人もない人も、是非参加して、みんなで暑い夏を吹き飛ばしましょう。
- ★ 連携室ではお世話になっている近隣の病院、医院、施設等へ夏のご挨拶に回らせてもらっています。日頃から顔の見える連携を重視しており、今回もいろいろと地域の状況・情報交換などを行っています。
- ★ 8月26日に大牟田文化会館小ホールにて、安全・感染の学習会(講演会)を行います。親仁会職員はもとより、地域からの多数の参加をお待ちしています。詳しくは米の山病院地域医療連携室までご連絡ください。
- ★ 国民年金の未納率が40.7%となり、過去最悪を更新しました。いろいろと問題はありますが、何かしらの対策が必要と感じる今日このごろです。